

Social medical corporation hokuto

★広報誌★

ほくと7

seven

78

VOL.

8月号

<http://www.hokuto7.or.jp>



特集

こども総合センター

診療科紹介 小児科

みなさん、こんにちは。

小児科・こども総合センターは風邪などの病気だけではなく、怪我や、心身症、発達相談、アレルギーまで、子どもであればまずは診療するという門戸の広い小児科を目指しています。

病気じゃないけど、不安で相談したいことがある。こんなことで受診していいのだろうか。そもそも何科に行ったらいいのだろうか。こういった事ありませんか？

お子さまのことでしたらまずにご相談ください。優しく、優秀な看護師、医療事務のスタッフ一同お待ちしております。

北斗病院 小児科/こども総合センター 副センター長 西村 洋一



小児科一般外来はネット予約OK!!

アレルギー外来、健診、予防接種は**お電話にて予約**ください。

予約外および初診の患者さまは受付時間内に直接外来へお越しください。一般外来のお電話での予約は行っておりませんので、予約の難しい方は受付時間内に直接外来へお越しください。土曜の外来はネット予約は行っていません。

午前9時～10時、午後14～15時の一部時間帯は混雑する場合があります。

アクセスいただいた時刻より30分後以降の時間帯でご予約可能となります。全身状態に問題ない患者さまは、インターネット予約された方を優先的に、診察させていただきます。ただし、医師が急患対応中の時や診療状況によっては、予約時間が前後する場合があります。待ち時間が発生する場合がございます。

ご予約に関するお問い合わせ
北斗コールセンター
☎0155-48-8000
[月～金曜/9時～15時の間]

ここからアクセスしてみよう



パソコン・携帯電話・スマートフォン対応
<http://hokuto7.atat.jp>

園芸療法12ヵ月 12



十勝自立支援センター 園芸療法士
介護老人保健施設 かけはし 剣持 卓也
植物のある環境や植物を育てることを用いて、対象となる方々の心身機能維持、回復に取り組む。日本園芸療法学会認定・専門認定登録園芸療法士。
老健かけはしBlog(ブログ)
園芸療法の取り組みやかけはしのイベント情報等、随時更新。ぜひご覧ください。



contents

- 02 園芸療法12ヵ月 専門家が教える 健康レシピ
- 03 ピックアップ
- 04 特集 こども総合センター
- 06 HOKUTO NEWS

6月「たくさん採れた野菜の役割」

気温の上昇と共に、畑に植えた野菜が次々と収穫時期を迎えます。今年はズッキーニがとても良く採れましたが、続いて大根やミニトマト、ナス、ピーマンが収穫できそうです。ただ、昨年と比べると実ものの出足が遅く、それほどたくさんは採れないかもしれません。それでも、園芸療法プログラムのなかでは食べきれないほどの収穫がありそうです。

キュウリやナスなどはすぐに大きくなってしまいますので、こまめに収穫をしなければいけません。園芸療法の日にタイミングが合わないこともありますので、そのような場合は1階受付のカウンターに置いておきます。かけはしにいらしたご家族の方などにご自由にお持ち頂いているのですが、「こんなに立派な野菜が採れるんだね」とよく驚かれます。そして、入所されている皆さんと一緒に、種まきや苗植えをするところから野菜作りをしていることをお伝えすると、さらに驚かれます。最近では、ご家族が面会にいらっしゃった際に畑や花壇を一緒にご覧になっていることもあり、楽しい話題のひとつとなっているようです。このように、植物のある場面はコミュニケーションを促すことが多く、園芸療法ではこうした効用も取り入れながら取り組みを進めています。

健康レシピ 第12回 ロカボ食

旬の野菜と豆乳で免疫力アップ&便秘解消! 夏野菜と豆乳のキッシュ

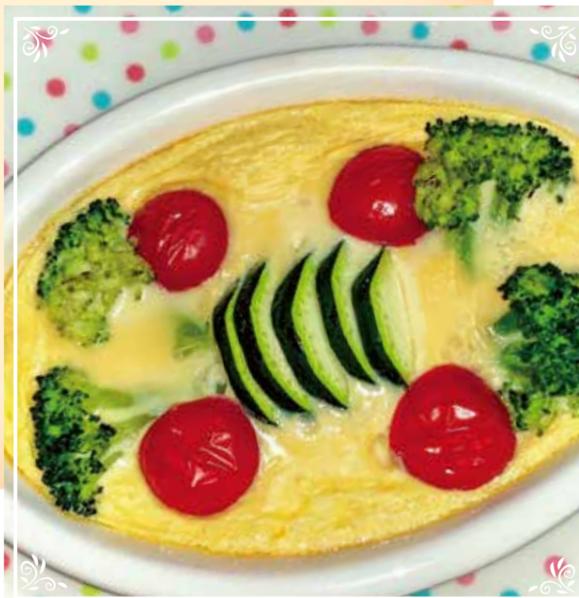
- 材料** (2人前)
- 鶏もも(皮なし) 35g
 - 玉葱 25g
 - オリーブオイル 1g
 - 塩こしょう 少々
 - ピザ用チーズ 20g
 - ブロッコリー 30g
 - ズッキーニ 20g
 - ミニトマト 2個
 - ★おから 20g
 - ★豆乳 90ml
 - ★卵 1個
 - ★コンソメ
 - ★小さじ1/2
 - ★塩こしょう 少々

- 作り方**
- 1 一口大に切った鶏肉とスライスした玉葱を炒めて味付けし、あら熱をとる。
 - 2 ★の材料を混ぜ合わせる。
 - 3 耐熱用の器に①を入れ、②も流し入れる。
 - 4 チーズ、お好みの大きさに切ったズッキーニ、茹でたブロッコリー、ミニトマトを上に乗せる
 - 5 オープン200℃で20分焼く。
- Point ライ麦パン(6枚切り)1枚と一緒に食べることでさらにバランスUP!!

栄養価

エネルギー	311KCal
たんぱく質	25g
脂質	17.2g
塩分	1.7g
糖質	8.9g
炭水化物	13.8g
食物繊維	4.9g
糖質=炭水化物-食物繊維	

栄養科 栄養士 本間麻依子





お子さんの体調で悩むのは、ご家族ではなく私たちの役目です! 少しでも心配なことがあれば、まずは「こども総合センター」へご相談ください。

北斗病院副院長
こども総合センター センター長

人見 知洋

佐賀大学医学部卒。神戸大学大学院修了。佐賀大学医学部准教授など歴任し、東日本大震災後3ヶ月間の被災地支援を行う。曾祖父が常呂郡佐呂間別で診療所を開設していた縁もあり来道。2014年4月北斗病院入職。ピアノとオーケストラをこよなく愛する。



—北斗病院・北斗クリニックの「こども総合センター」には、こういった特徴がありますか

北斗クリニックでは、アレルギー専門外来と「こどもER」として小児科全般の診療をおこなっています。また、かかりつけ医として予防接種や乳児健診などにも対応しています。病院の方の専門外来では、こどもの発達や行動など心の相談、診療をおこなっています。この体制で小児科をスタートして約5年が経ちました。当院で小児科を立ち上げる際に、よく分からない症状でどこに行けばいいか迷ったり、緊急性があるのかどうかかわからず病院を受診すべきか悩んだりしているご家族にまず相談に来てもらえる、こどもたちの医療の「ファーストタッチ」を担う場所にしようと考えました。一般的な小児内科だけでなく軽微外傷から心の診療まで地域密着型のこども総合医療をこの十勝で実現したい、そういった想いから「こども総合センター」と命名しました。

—「こどもER」というのもあまり聞かない名前ですね

我々は以前、佐賀大学医学部附属病院の救命救急センターで、小児救急を担当していました。救急車だけでなく、病気や怪我を問わずさまざまな受診動機の子どもたちを、小児科救急チームが救急医と協力しながら、24時間365日体制で診療し、専門医療を必要としているこどもは必要に応じて他科の専門医に治療を依頼する総合的な窓口として、こどもの「ER」的なポジションを確立していました。これは当時日本のモデルとなる小児救急の形だと考えられていて、この自分たちの思い描いてきた外来の理想形を、帯広の地域医療に組み込むチャレンジを始めるにあたり、目指す医療の志を忘れないように、「こどもER」とあえてネーミングしました。

緊急かつ重症を扱うだけでなく、重症化させないという予防の概念を救急の中に取り込んだのが、先人から受け継ぐ小児救急の基本的なコンセプトです。ありふれた症状であってもこどもやご家族が不安で駆けつけてきたとき、緊急度・重症度を見抜く力を持つ小児医療スタッフが訴えの交通整理を始めます。このファーストタッチの先にさらに適切な治療が受けられる医師に引き継ぐ体制です。お子さんの体調不良はご家族が悩むのではなく、我々が悩んで道筋を

つけるというスタンスです。重症度に応じて診療していますので、お待たせしてしまうこともあるかもしれませんが、少しでも不安なことがあれば、北斗クリニックの「こどもER」に相談にきてください。

—専門外来として「アレルギー外来」の他に「心と体の相談外来」があるのも特徴的ですね。どのような診療をしているのですか

私は大学病院を離れ、震災後の陸前高田で診療をしていたことがあり、そこで小児科医にとってこどもの総合的な理解に心の理解がいかに大切であるかを痛感しました。そのあと、九州の児童精神科医が多く在籍する肥前精神医療センターなどで2年近くこころの医療を勉強させていただきました。この北斗病院は、リハビリテーションが充実した病院なので、こどものこころの発達に関するリハビリができるセンターにしようと思い、理事長、院長先生にもご理解いただきました。

例えば頭痛などであっても、体の不調はこころの不安定さと関連していることも多く、疾患としてはっきりしない症状の場合でも、心と関連したものか見通しを立てられればその分こどもに寄り添えます。症状を取り除くだけではなく、本人の納得感を作り気持ちを安定化させる導き方を続けていくような、こころの医療を必要としているこどもはたくさんいます。発達の相談で初診の場合は予約をお待たせしてしまう状況ですが、ご家族が心との関連で不安に思っていることがあれば、まず一般外来(こどもER)でお伝えいただくことも可能です。

—最後に、これから目指している小児医療への抱負などメッセージをお願いします

我々が専門外来で診療しているアレルギーや発達などは一般的に誤解されていることも多いと思います。例えば食物アレルギーの血液検査をして、結果がいくつ以上の場合にはアレルギーと診断できるかという、そんなに単純なものではありません。いわゆる発達障害も、どこからが問題とか線引きできるものではなく、あくまでもその子のもつ脳の特徴です。アレルギーに関しては、症状の経緯とアレルゲンの関連を分析していくことが大事だし、発達に関しては、その子の特徴をみんなで共通理解していく中で、大人になるまでの間に本人の気づきが生まれ、その自己変革を助けてあげることが重要であり、どちらも将来の危険を回避していく予防の概念が含まれます。このように、医療ができることを正しく理解してもらえよう伝えていきたいと考えています。

現在は体制面で追いついていない部分もありますが、小児科専門医がファーストタッチをして適切な診断・治療につなげる総合窓口として、周囲のサポートを得ながら本来の小児ER+αで新しい価値を実現するというビジョンを持ち続けています。ゆくゆくはこうした医療の実践に賛同してくれる若い医師にも参加してもらい、ノウハウを受け継いでいきたいと思っています。



診察室にはこども達から贈られた愛情あふれる絵が飾られている

—先生、ありがとうございました



市民公開講座「全部見せます！最新の心臓手術
〜心臓のしくみから手術中の様子まで〜」

北斗病院 心臓血管外科部長 井上 信幸

7月3日十勝リハビリテーションセンターにて開催しました市民公開講座の様子を報告させていただきます。管内のみならず、新しくなった北斗病院心臓血管外科を少しでも知って頂きたいとの思いで、このような講座を開催させて頂きました。170名もの方に足を運んで頂き、盛大な講座になりましたことを嬉しく思っております。そして開催にあたりご協力頂きました関係者のみなさまには心より感謝を申し上げます。

今回「全部見せます！最新の心臓手術〜心臓のしくみから手術中の様子まで〜」というテーマにしたのは理由があります。私は日頃から心臓のしくみを知らずして病気を理解するのは難しいと考えており、外来の患者さんに病気の説明をする際、また手術を予定している患者さんに説明をする際には、心臓の解剖としくみから始め、極力絵を描いて説明しています。心臓はポンプの役割という単純な臓器

ですが、その成り立ちは複雑です。私は学生時代にこの単純で、それでいて複雑な心臓という臓器に魅了され心臓外科の道を選択しました。自ら発電し、その電気で筋肉を収縮させ動く心臓。自分が送り出した血液を自分に供給し、エネルギーとする心臓。医学の進歩・機械の発達をもつても未だ本物を超えるものがない心臓。どれもとても興味深いところです。この面白さをみなさまに少しでも知って頂き、その上で医学の進歩が生んだ最新の心臓手術を知って頂ければと考えました。講座の冒頭では「心臓の色は何色でしょうか？」という質問を会場に投げかけました。講演に足を運んでくださった方々、医療関係者を含めても正答率は20%程度でした。答えは内臓脂肪の影響で黄色です（ちなみに赤ちゃんは筋肉の赤色）。動いている心臓の動画には、ドラマとの違いを感じて頂けたのか、前のめりで食いつくように観る方、目をつむ

る方と反応は様々でした。心臓手術は他の外科手術同様、低侵襲を求められる時代に来ています。講座の後半では冠動脈バイパス手術で使用する血管を小さな傷で採取する方法。弁膜症においては、僧帽弁を乳房の下で7cm程度の傷で手術する方法や大動脈弁を胸を切らずカテーテルで置き換える方法。大動脈瘤をステントグラフトという医療材料でカテーテル的に治療する方法などを動画で観て頂きました。

講座終了後には実際に手術現場で使用するペースメーカー、人工血管、ステントグラフト、髪の毛より細い縫合用の糸などを展示し、手に取って頂きました。糸結び体験の中で、医療に興味を持っていらっしゃる中学生が、ドラマを観て勉強したという糸結びを上手に行っていた事が印象的でした。是非また違った内容で公開講座や医療体験ができる催しを開催させて頂ければと願っております。



先生も驚いたという、ドラマを観て覚えた糸結びを披露する中学生

豊成小4年生が十勝リハビリテーションセンターを見学

医療技術部 作業療法科科长 阿部 正之

7月3日、豊成小学校4年生27名と教員の皆さんが総合的な学習の一環として十勝リハビリテーションセンターの見学に行きました。総合的な学習は、学校周辺の特色や魅力について知り、働く人の姿から、少し先の自分について考え、キャリア発達を促すことを目的とし

ています。当院以外にも、複数の周辺施設へ分かれて見学を行っているそうです。

当日は、見学にいらした小学生に3班に分かれてもらい、理学療法では下肢装具やパワープレート、作業療法ではスプーンなどの自助具、言語聴覚療法ではコミュニケーションツ



ールなどの体験をして頂きました。皆さん興味を持って真剣にお話を聞いてくださり、最後には多くの質問がありました。十勝リハビリテーションセンターでは、毎年小学生の見学を受け入れています。地域の社会資源として、リハビリテーションセンターがどんな役割を持っているのか、またリハビリテーション専門職はどんなことをしているのかを何となく理解してもらえたのではないかと思います。この中から次代のリハビリテーション専門職を目指す方がたくさん出てくる事を期待しています。

New Face

新着任医師のご紹介

脳神経外科 津田 宏重 Tsuda Hiroshige

専門分野は脳血管障害ですが、脳腫瘍、外傷を含めて診療します。手術は開頭、内視鏡を駆使して行います。十勝の医療に貢献できるよう、精進していきます。

- 略歴
- 平成10年 旭川医科大学卒、脳神経外科専攻
- 平成14年 旭川医科大学大学院卒
- 平成17年 留萌市立病院
- 平成18年 旭川赤十字病院
- 平成20年 北見赤十字病院
- 平成22年 帯広厚生病院



2019年
8月20日頃
完成予定

★ 北斗福祉村プロジェクト ★

北斗福祉村ガーデン 星の庭

サービス付高齢者向け住宅 あやとり、介護老人保健施設 かけはしの中に造成している北斗福祉村ガーデン(仮)。ずっと仮称でしたが、この度『星の庭』という素敵な名前をいただきました。この『星の庭』では、福祉村の各施設や地域に暮らす方々との交流を通じて、生きがいづくりや、新しいコミュニティづくりを促します。8月26日以降はどなたでも自由に入りにしてご利用できますので、ぜひ直接庭の完成をご覧にいらっしやってください。



2019年6月25日撮影



2019年7月3日撮影



2019年7月18日撮影

5月の記録的な少雨から一転、7月は雨、雨、曇天と晴れ間が恋しい中での作業になりました。



2019年7月24日撮影



2019年8月1日撮影

造成終了までもう一息。これから長い時間をかけて育まれる『星の庭』にどうぞご期待ください。

お気軽にお問い合わせください

すべてのお問い合わせ ☎0155-48-8000〈北斗コールセンター〉



- 関連施設
- 北斗病院 (帯広市)
 - 北斗クリニック (帯広市)
 - 十勝リハビリテーションセンター (帯広市)
 - サービス付き高齢者向け住宅 あやとり (帯広市)
 - 十勝自立支援センター介護老人保健施設 かけはし (帯広市)
 - ほくと自立支援ホーム/あおぞらクリニック (帯広市)
 - 上士幌クリニック/介護老人保健施設かみしほろ (上士幌町)
 - 新得クリニック (新得町)
 - 熊谷総合病院 (埼玉県熊谷市)
 - HOKUTO画像診断センター (ロシア・ウラジオストク)
 - HOKUTOリハビリテーションセンター (ロシア・ウラジオストク)

2019年8月15日発行

発行: 社会医療法人 北斗
発行人: 鎌田 一

責任者: 久保田 亨
編集長: 伊藤 慎

〒080-0833 帯広市稲田町基線7番地5
☎0155-48-8000 FAX0155-49-2121